



飯田市立病院ニュース

飯田市立病院・高松分院広報



地域の期待にお応えします。

PET-CT検査はじまる

がんの早期発見に威力を発揮するPET-CT（陽電子放射断層撮影装置）検査が、開始となりました。県内では、松本市の相澤病院と一之瀬脳神経外科病院

に続いて三番目、南信では初めての導入となり、がんの検査や診断に有効活用が期待されます。

この検査は、一度に頭部から大腿部までを撮影することではほぼ全身を

診察することができ、がんの早期発見や転移による再発の診断に効果があります。がんの検出率が高まり、がんの大きさ、正確な部位や拡がり、転移・進行度などを一段と鮮明にします。ただし、わかりにくいがんもあるため、他の検査（内視鏡、腫瘍マーカー、超音波など）と上手に組み合わせることが重要で

す。今回導入された機種は国内では第一号の最新鋭機で、操作性も飛躍的に向上しており、従来にない高分解能、低ノイズのクリアな画像が期待できます。地域住民の期待も大きく、また多くの医療機関も注目している検査が飯田市で可能になることは喜ばしく、当院としても期待に応えることができるように万全の体制を整えて対応いたします。七月十八日（火）から検査が開始されました。完全予約制で一日八名程度を予定していますが、当分の間は保険適用となる患者さん四、五名程度で運用いたします。また、人間ドックと組み合わせた検診については、一定の実績を積み上げた後、十月から実施する予定としています。高額な医療機器でもあり、飯田下伊那地域はもちろん



のこと、上伊那、諏訪、木曾地域、並びに中津川市など隣接する地域にも紹介し、有効活用を図ってまいりたいと考えています。

日本人の死亡原因の第一位はがん。多くのがんは、早期発見によって治る病です。心配するよりも先ず検査を受けてみてはいかがでしょうか。

【経営企画課】

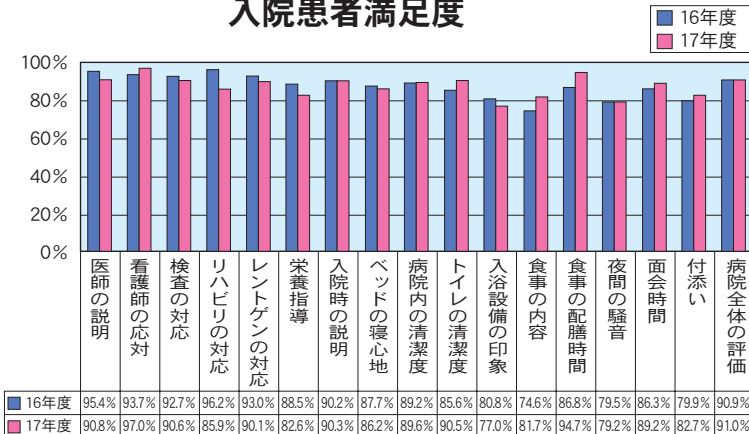


患者満足度調査結果より ＝満足度が低い 待ち時間＝

期間:平成18年 1月23日～1月27日 対象:外来患者 864名(外来回収827枚 回収率 95.7%)

期間:平成18年 1月中旬 対象:入院患者 144名

入院患者満足度



＝満足度について＝

本調査では「不満のないレベル」と回答された数を「満足度」として数値化しています。

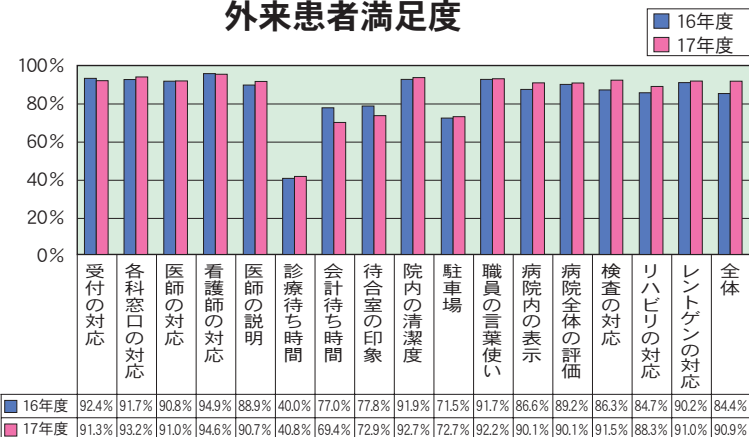
医療サービス推進委員会では、毎年1回患者満足度調査を実施しています。外来患者さん・入院患者さんを対象として職員の接遇・対応、待ち時間などに関する事項、トイレ、入浴設備、駐車場などの施設や入院中の食事などに関する事項です。特に、調査により明らかにされた問題点は医療サービス推進委員会で、病院全体の問題として検討し、その改善に努めています。

平成17年度は1月に実施し、外来827名・入院144名の方のご協力をいただきました。16年度に比べ「検査の対応」「院内表示の方法」に関する項目で評価が向上したものの、「外来診療の待ち時間」「駐車場」入院での「入浴設備の印象」においては、昨年の評価と同様に評価が低くなっています。診療の待ち時間については、患者さんに適切にお知らせするとともに、職員の意識改善にも努力しています。また、その他の項目についても内容を調査し、問題点の改善に努めてまいります。

アンケートに寄せられた貴重なご意見などは、当院の環境改善に役立つ大切な情報となっていますので、今後の実施につきましてもご協力をお願いいたします。

【医療サービス推進委員会】

外来患者満足度



当院の取組み

○外 来

- ・患者待ち時間の短縮に向け、待ち時間調査を行い平均待ち時間は昨年度は50分でしたが今年度は39分になり、11分の短縮をすることができました。
- ・患者様の見直しにより、各科の待ち時間の調整を進めています。
- ・助産師外来を設置し、患者さんのご負担を減らすようにしました。
- ・産科外来に問仕切りを設置し、プライバシーの確保をしました。
- ・玄関のスロープの段差を無くし、幅を広げました。

○入 院

- ・順次トイレを洋式のウォシュレット付きのものに改修しております。
- ・分娩増加に伴い、分娩台の増設等改修工事を行いました。

○接 遇

- ・あいさつ週を毎月設定し、あいさつの向上に努めています。
- ・接遇研修会を実施し、職員の意識向上に努めています。

患者さん相互の 支えあいで10周年

飯田市立病院で手術を受けられた患者さんで組織している患者会の総会が盛大に開催されました。今回、ハートの会・あすなる会が十周年を記念して指導にあたっている飯田市立病院の医師や、初代会長さんへの感謝状の贈呈や親睦会が催されました。それぞれの患者会

は年間を通じてマレットゴルフ大会や講演会、体験発表などの活動を行っています。患者会は講演会や体験談を通じて、病気の再発予防と相互の親睦に大きな目的がありますが同じ悩みや不安を言い合える情報交換の場として、これからも長く継続される事を願っています。



ハートの会

名 称	会 員 数	該 当 者	担当医師	総会開催日
ハートの会	250名 (市立病院6患者会の中で最大規模)	心臓血管外科手術を受けた患者さん	外科 神頭定彦	5月27日
あすなる会	40名	人工肛門ストーマを増設された患者さん	外科 堀米直人 外科 平栗 学	6月18日

お花を見においでください。



高松分院では六月と十二月の年二回「環境整備」に取り組んでいます。今年も六月十日に職員、ボランティアを含め総勢六十名程で駐車場の除草や側溝の掃除をはじめ剪定、花壇の整備などに汗を流しました。

特に高松フラワーズの皆さんの協力により花壇に数種類の花を植えることができました。今年も高松分院の花壇では、一年を通じて花を楽しんでいただけだと思います。

これからも患者さんをはじめ、病院に訪れる方々に安らぎを与えられる活動に取り組んで参ります。

【高松分院】

看護の日



『看護の心をみんなの心に』というテーマで毎年五月十二日は看護の日と制定され、各地でいろいろなイベントが開催されました。当院では患者さんへメッセージカードを贈り、ハンドベルの演奏を行いました。ハンドベルの演奏では多くの患者さんが聞きにきて下さいました。ハンドベルが奏でるメロディーに耳を傾け、時々一緒に歌ってくれる場面もあり、好評でした。



患者さんの自立を支援し、安全で責任ある看護を実践するための新任者育成

飯田市立病院看護部は、三〇〇余名の看護職で構成されています。

医療の現場は日々高度化し、急性期医療を担う当院スタッフに求められるものは多大了。

今年度当院看護部は、専門基礎教育を終えたばかりの新卒者と、他施設での経験を有した既卒者を合わせて、十八名の新任者を迎えました。新任者の教育に期待されるものは、①社会人・組織人としての自覚をもつ ②基礎看護技術を身に付けて責任ある看護が実践できる等です。看護部教育委員会は、その期待を研修課題に掲げ、教育プログラムに沿った研修を企画・運営しています。

四月初めのオリエンテー

ションを終えた新任者の配属部署には、プリセプター（上司に代わる先輩教育担当者）が待っています。さらに日々の看護実践のチームが教育に関わります。一カ月半が経過した五月十八、十九日は、新任者研修パート1を開催しました。プログラムは、「就職して思うこと」の三分間スピーチ、救急蘇生ガイドライン・逝去時の支援の体験学習、一カ月半を振り返るグループワーク等で、二日間部署を離れての学習となりました。

教育の三本柱である、OJT（現場での直接指導）、OffJT（集合教育）、SD（自

己学習）を組み合わせ展開すること、新任者は患者さんの自立を支援し、安全で責任ある看護を実践する看護師に少しずつ成長しています。

【看護部教育委員会

何原真弓】



飯田市立病院健康講座「腰痛ってなぜなるの？」



飯田市立病院健康講座が6月2日(土)腰痛をテーマに開催されました。一般市民約140名の方が参加し、当院整形外科医長 伊東秀博医師による講演、続いて健康運動指導士 牧内隆雄氏による腰痛予防体操を行いました。講演の内容は、現代社会は、精神的ストレスや身体活動の減少・栄養過多による運動と栄養のアンバランスにより腰痛を生じやすくなっている。腰痛の原因は、運動器に由来するもの(最も多い)・内臓疾患・神経疾患・心因性等いろいろな疾患により生じる場合や、高いヒールの靴・柔らかいベッド・うつ伏せに寝る・足を浮かせて座る等不良姿勢による腰痛の場合も多い。日常生活での注意により軽減・治すことが出来る腰痛もある等、分かりやすく説明され好評でした。人類の80%が経験するといわれる腰痛については非常に関心が高く20～80代の幅広い年齢層の方々が熱心に講演を聞き入っていました。

次回は10月14日(土)「脳梗塞について」を予定しています。

【地域医療部】

話題の広場



検査の窓 脂質検査とは？

血中脂質検査の主なものは、総コレステロールと中性脂肪です。

コレステロールには、血管の壁にたまって動脈硬化の原因となる悪玉コレステロール(LDLコレステロール)と、その悪玉を運び去る働きをする善玉コレステロール(HDLコレステロール)があります。コレステロールは、体内でさまざまな形で利用され体を作っている細胞の維持や強化に大切な役割を果たしています。多すぎず、少なすぎず、ほどほどに保つのが健康の秘訣です。

中性脂肪(TG)は、体のエネルギーとして利用されますが、余分な脂はお腹などの皮下脂肪や肝臓に蓄えられ肥満の原因となります。

総コレステロールや中性脂肪が基準値よりも高くなると、高脂血症と診断されます。高脂血症は動脈硬化や狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、脂肪肝などの原因となります。

右記に当院の基準値を示しましたが、あくまでも動脈硬化などのリスクのある人を幅広くスクリーニングするための値です。心配な方は必ず主治医にご相談下さい。

次回は血糖値について記載します。

【臨床検査科】

脂質検査基準値

総コレステロール	130～220mg/dℓ
HDLコレステロール	37～71mg/dℓ
LDLコレステロール	70～139mg/dℓ
中性脂肪	30～150mg/dℓ

皆様の声にお答えします

市立病院では、外来・入院患者さん、お見舞い等の皆様から様々なご意見ご要望をいただいております。貴重なご意見につきましては、集約して関係職員への回覧の後、できるところから改善を行っています。

要望「産婦人科外来の中待合室のパイプ椅子は妊婦にとっては腰が痛くなるなど座わり心地が良くありません。座りやすい椅子に替えてほしいのですが。」

つらい思いをさせてしまったことにつきましてお詫びをいたします。

複数の方から同じご意見をいただきましたので、中待合室のパイプ椅子4脚を座っていて負担の少ないものに交換いたしました。今後のご利用の中でお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。

皆様からいただきました貴重なご意見はよりよい医療を行うために反映させ、期待にこたえられる病院にして参りたいと思います。



職場紹介

【5階西病棟紹介】

5階西病棟は、呼吸器内科・泌尿器科・血液浄化科・眼科・皮膚科・放射線科の6科を担当する病棟です。今回は特に聞きなれない科について紹介させていただきます。①血液浄化科では人工の腎臓を使って身体に不必要な老廃物を取り除くことを行っています。つまり透析です。初めて透析をされる患者さんが、自宅で体の管理が出来、透析を生活の一部にいただけるように支援しています。②放射線科では病気の部分に放射線を照射する治療を行っています。専門の放射線科医師が照射する部位や量を決め、患者さんの状態に応じてきめ細やかにフォローをしています。③呼吸器内科には呼吸機能の低下により酸素を日常生活で使用しなければならない患者さんが自宅で酸素吸入を行いながら生活できるように学習していただいています。退院の後、携帯用酸素ボンベをお供に旅行されている方もいらっしゃいます。病気になってもそれに立ち向かえる気持ちが大切だということを日々患者さんから教えていただいています。



老人保健に該当する方や各種健康保険に加入している方が、一定の要件を満たす場合に、入院したときの一部負担金や食事代を減額する制度があります。

該当する方は、あらかじめ加入保険先（老人保健に該当する方はお住まいの市町村役場まで）へ申請をし、入院するときに医療機関に

減額認定証をご提示ください

「減額認定証」をご提示ください。申請した月から減額になります。ご提示がないと一部負担金や食事代が減額になりませんので、お持ちの方はお忘れなくご提示ください。

なお、現在「減額認定証」をお持ちの方は、七月末日で有効期限が切れます。引き続き必要な方は八月中旬に再度申請してください。

減額要件など、詳細は加入保険先へお問い合わせください。

【医事課】

新任医師の紹介

平成18年4月～6月



整形外科
いさお
よだ 功
平成15年卒業
平成18年7月1日着任
前勤務病院：
昭和伊南総合病院整形外科



眼科
なべ
わた 裕子
平成10年卒業
平成18年4月1日着任
前勤務病院：
信州大学医学部附属病院



眼科
おさだ
おさ 佐智子
平成15年卒業
平成18年7月1日着任
前勤務病院：
県立須坂病院



編集後記

四月一日「十八年度診療報酬改定」が行われました。今回の改定では、患者の視点と医療費の効率化の観点から広い範囲で大幅な改定が行われました。今回の改定で感じたのは、キーワードとして「患者から見えて分かりやすい」という視点が盛り込まれたことです。「医療費の内容の分かる領収書の交付」が全ての医療機関に義務付けられました。患者さんの様々な期待に応えられるよう職員もより一層の努力をしていく必要性を感じております。事務的な会計の場ではあっても、患者さんとのコミュニケーションをより大事にし業務に当たりたいと思っています。

【編集委員】

金田理恵子

